



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 日特エンジニアリング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6145 URL http://www.nittoku.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)近藤 進茂
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部長 (氏名)坂口 賢三 (TEL)048(837)2011
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	10,651	△23.8	562	△72.7	661	△69.4	453	△67.5
25年3月期第3四半期	13,984	△12.3	2,061	△33.6	2,162	△32.2	1,394	△25.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期1,065百万円(△33.6%) 25年3月期第3四半期1,604百万円(△4.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	25 11	— —
25年3月期第3四半期	77 20	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	22,366	17,884	79.8
25年3月期	23,892	17,397	72.6

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期17,840百万円 25年3月期17,357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10 00	—	18 00	28 00
26年3月期	—	14 00	—		
26年3月期(予想)				14 00	28 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	△13.7	1,300	△51.2	1,500	△46.1	1,000	6.8	55 34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名)―、除外 一社(社名)―
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	18,098,923株	25年3月期	18,098,923株
26年3月期3Q	30,426株	25年3月期	30,122株
26年3月期3Q	18,068,658株	25年3月期3Q	18,068,801株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、日本、アメリカの強弱のある景気回復、新興国の成長鈍化あるいは不安定成長、欧州の緊縮財政の長期化による景気低迷という大局の中、総体的には景気拡大の傾向を維持しました。

当社の主力事業である巻線機事業の売上高は、最終マーケットの一つである自動車の製造・販売は好調さを維持し、安全性、快適性の向上を図るための電装品の開発も進んだことで順調な推移を続けました。情報通信では、標準的な電子部品向けの設備投資の一巡感から前年同期比約15%の売上減少となりました。AV・家電は、製品機能や部品のイノベーションが限定的であったことからこの分野での設備投資は低迷を続けました。また、巻取り装置を中心とする巻線以外の分野は、量産機の本格的な売上が来期からという開発案件が多くあり低調となりました。

受注につきましては、自動車向けは、電装化、生産の自動化を中心に力強さを維持しております。また、スマートフォンをはじめとする電子機器類の普及は著しく、その競争は激化し、昨年4月頃からは業界全体で一時的に製品開発や増産化が停滞したため、設備受注が低迷しました。しかし、同10月頃より高機能化、多機能化に向けた設備の開発、並びに新興国マーケットでの低価格化競争に向けた投資効率の高い設備のニーズが増加し、受注が回復を見せはじめました。また、家電分野はジェネリック家電などコモディティ化が進み、新規開発意欲が高まらない面はあるものの、電気製品の省電力ニーズは根強くあり、また、スマートグリッド向けは、個別の製品の開発が増加しつつあって、若干ながら回復の兆しが見えはじめました。

なお、利益面では難易度の高い開発案件が断続的にあり、利益率の回復は遅れております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は106億51百万円（前年同期比23.8%減）、営業利益は5億62百万円（前年同期比72.7%減）、経常利益は6億61百万円（前年同期比69.4%減）、四半期純利益は4億53百万円（前年同期比67.5%減）となりました。

当期の四半期ごとの受注推移としましては、個別の巻線機事業で第1四半期の受注高30億80百万円（同期末受注残高42億8百万円）に対し、第2四半期の受注高22億77百万円（同期末受注残高31億99百万円）と減少しましたが、第3四半期は受注高45億36百万円（同期末受注残高56億76百万円）と大幅に回復しました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(巻線機事業)

全売上高の約95%を占める巻線機事業におきましては、前述の結果、連結売上高は101億61百万円（前年同期比24.2%減）、セグメント利益（営業利益）は9億14百万円（前年同期比60.6%減）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は98億93百万円（前年同期比7.0%減）、売上高（生産高）は89億58百万円（前年同期比24.1%減）、当第3四半期末の受注残高は56億76百万円（前年同期比7.8%減）となりました。

(非接触ICタグ・カード事業)

非接触ICタグ・カード事業におきましては、需要の減少に伴い、連結売上高は3億34百万円（前年同期比21.8%減）、セグメント利益（営業利益）は39百万円（前年同期比65.4%減）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は4億83百万円（前年同期比21.9%増）、売上高（生産高）は3億34百万円（前年同期比21.8%減）、当第3四半期末の受注残高は2億89百万円（前年同期比86.5%増）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業におきましては、賃料の改定に伴い、連結売上高は1億55百万円（前年同期比3.2%減）、セグメント利益（営業利益）は1億11百万円（前年同期比16.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前連結会計年度末対比22億49百万円減少し、143億53百万円となりました。これは主として、現金及び預金が7億65百万円、受取手形及び売掛金が13億9百万円、仕掛品が3億57百万円減少したことによります。

固定資産は前連結会計年度末対比7億24百万円増加し、80億13百万円となりました。これは主として、投資有価証券が8億21百万円増加したことによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末対比15億25百万円減少し、223億66百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末対比20億56百万円減少し、32億77百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が16億38百万円、未払法人税等が2億49百万円、賞与引当金が1億48百万円減少したことによります。

固定負債は前連結会計年度末対比44百万円増加し、12億5百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末対比20億12百万円減少し、44億82百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末対比4億86百万円増加し、178億84百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成25年11月8日に公表しました通期業績予想から修正は行っておりません。なお、業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の数値は、今後のさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,606,103	8,840,541
受取手形及び売掛金	4,002,387	2,692,901
仕掛品	1,950,543	1,593,160
原材料及び貯蔵品	578,767	613,064
繰延税金資産	182,090	69,809
その他	287,421	547,044
貸倒引当金	△3,565	△2,713
流動資産合計	16,603,748	14,353,811
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,933,224	2,802,939
機械装置及び運搬具(純額)	422,002	411,618
土地	1,590,665	1,590,665
その他(純額)	196,051	206,604
有形固定資産合計	5,141,944	5,011,828
無形固定資産		
その他	91,018	89,225
無形固定資産合計	91,018	89,225
投資その他の資産		
投資有価証券	1,490,094	2,311,117
繰延税金資産	13,713	—
その他	558,080	608,066
貸倒引当金	△6,481	△7,127
投資その他の資産合計	2,055,407	2,912,056
固定資産合計	7,288,370	8,013,110
資産合計	23,892,118	22,366,921
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,756,361	2,118,182
未払法人税等	257,768	8,582
賞与引当金	305,337	156,962
その他	1,014,065	993,612
流動負債合計	5,333,532	3,277,339
固定負債		
退職給付引当金	355,088	324,875
負ののれん	23,103	—
その他	783,110	880,449
固定負債合計	1,161,302	1,205,324
負債合計	6,494,835	4,482,663

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,884,928	6,884,928
資本剰余金	2,542,054	2,542,054
利益剰余金	7,674,604	7,550,198
自己株式	△22,917	△23,207
株主資本合計	17,078,669	16,953,973
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99,082	319,500
為替換算調整勘定	179,807	567,182
その他の包括利益累計額合計	278,889	886,682
少数株主持分	39,724	43,601
純資産合計	17,397,282	17,884,257
負債純資産合計	23,892,118	22,366,921

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	13,984,952	10,651,250
売上原価	9,978,984	7,909,408
売上総利益	4,005,968	2,741,842
販売費及び一般管理費	1,944,625	2,179,523
営業利益	2,061,343	562,318
営業外収益		
受取利息	15,620	32,230
受取配当金	23,448	26,418
負ののれん償却額	34,655	23,103
その他	32,858	36,508
営業外収益合計	106,583	118,261
営業外費用		
債権売却損	5,211	5,922
減価償却費	—	11,585
その他	318	1,083
営業外費用合計	5,530	18,591
経常利益	2,162,396	661,988
特別利益		
固定資産売却益	20,043	854
投資有価証券売却益	59,908	50,493
その他	1,629	1,164
特別利益合計	81,581	52,512
特別損失		
固定資産売却損	9,922	70
固定資産除却損	2,266	165
投資有価証券評価損	67,852	—
その他	1,296	750
特別損失合計	81,337	986
税金等調整前四半期純利益	2,162,640	713,514
法人税、住民税及び事業税	615,870	128,723
法人税等調整額	151,477	127,109
法人税等合計	767,347	255,833
少数株主損益調整前四半期純利益	1,395,292	457,681
少数株主利益	303	3,888
四半期純利益	1,394,988	453,792

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,395,292	457,681
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64,236	220,418
為替換算調整勘定	144,940	387,362
その他の包括利益合計	209,176	607,781
四半期包括利益	1,604,469	1,065,462
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,602,312	1,061,586
少数株主に係る四半期包括利益	2,157	3,876

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	巻線機事業	非接触ICタグ・ カード事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	13,396,530	427,905	160,516	13,984,952
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	13,396,530	427,905	160,516	13,984,952
セグメント利益	2,320,919	113,768	133,164	2,567,851

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,567,851
全社費用(注)	△506,508
四半期連結損益計算書の営業利益	2,061,343

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	巻線機事業	非接触ICタグ・ カード事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	10,161,136	334,728	155,385	10,651,250
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	10,161,136	334,728	155,385	10,651,250
セグメント利益	914,700	39,361	111,037	1,065,099

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,065,099
全社費用(注)	△502,780
四半期連結損益計算書の営業利益	562,318

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。